



TOHOKU
UNIVERSITY

2017
10月3日開講

memento
mori

対面授業有

- 死を想え -

2017
11月1日開講

解明：
オーロラの謎

2018
2月開講(予定)

東日本大震災の教訓を活かした
実践的防災学
へのアプローチ
—災害科学の役割

2018
5月開講(予定)

男と女の文化史

受講
無料

※対面授業については裏面参照

オンラインで学ぶ 東北大学 MOOC

MOOC (Massive Open Online Course : 大規模公開オンライン講座) とは、世界中に登録者を持つ、新しいオンライン学習サービスです。居住国、人種、言語、年齢等の異なる多様な学習者が集まっており、また、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、オックスフォード大学、スタンフォード大学といった各国トップクラスの大学も参加しています。MOOC は今後の教育のあり方を大きく変える革新的なシステムです。

東北大学では「世界と地域に開かれた大学」、「市民の知的関心を受け止め、支え、育んでいける教育研究活動を積極的に推進する大学」の実現を目指し、本学の世界最先端の研究や教育の成果、日本あるいは東北という地域性のある独自の研究や教育の成果を、講座コンテンツとして広く発信することにより、社会が直面する諸問題の解決、平和で公正な人類社会の実現の一助等になれば幸いと考えております。ぜひご期待ください。

詳しくは
裏面もしくは
下記で検索

東北大学 MOOC



どなたでも受講可能

※JMOOC 公認プラットフォーム gacco への登録(無料)が必要です



東北大学
オープンオンライン教育開発推進センター
<http://mooc.tohoku.ac.jp/>
E-mail: secretary.mooc@grp.tohoku.ac.jp

東北大学で学ぶ高度教養シリーズ

2017 10月3日開講 **7月21日受講登録開始**

「memento mori - 死を想え -」

鈴木岩弓 総長特命教授 名誉教授

[教養教育院]



メント・モリというラテン語は、「死を想え」、つまり現在は幸せに生きている自分自身もいずれは死を迎えることを忘れるな！という警句です。” Man is mortal. (人は死すべき存在である)”と言われるように、われわれ人間はいつか必ず死を迎えます。しかし死んだらどうなるのかといった、古い時代からの永遠の疑問は、未だ解明されないままです。正解のわからない死をめぐる、人はさまざまな生活様式 (=文化) を創造してきました。授業では現代日本人の死の文化を中心に、「死」について考えます。



対面授業

東京

11/18(土)

仙台

11/23(祝)

■時間：13時30分～(13時開場)

■募集定員：24人(先着順)

■受講料：3,000円

■場所：東京都港区南麻布 1-6-15
アーバンネット麻布ビル 1F
ドコモ gacco/
NTT-LS オフィス会議室

■申し込み方法

①右下 QR コードより当センター HP へアクセスし

「memento mori- 死を想え -」を受講登録。

(gacco 未登録の方は会員登録 (無料))

②同講座の「対面学習コース」(有料)の「Peatix で申込み」を選択。
(※講習料・お支払い方法等ご確認ください。)

■時間：13時30分～(13時開場)

■募集定員：48人(先着順)

■受講料：3,000円

■場所：宮城県仙台市青葉区川内 41
東北大学川内キャンパス
マルチメディア教育研究棟
6F 大ホール

2018 5月開講 (予定)

受講登録準備中

「男と女の文化史」

高橋章則 教授

[大学院文学研究科]

嶋崎 啓 教授

[大学院文学研究科]

芳賀京子 教授

[大学院文学研究科]

横溝 博 准教授

[大学院文学研究科]



予期せぬ天災・人災が襲う人間社会。その予想外のことの起きる社会の半分を〈男〉が占め、もう半分を〈女〉が占めることは紛れのないこと。しかし、その半分のことが分からない。そして、知りたい。
〈男〉〈女〉のことを「想定外」と片付けず、歴史の中で、文化の中で、美術の中で、真面目に考えてみたいと思います。

東北大学サイエンスシリーズ

2017 11月1日開講 **7月21日受講登録開始**

「解明：オーロラの謎」

小原隆博 教授

[大学院理学研究科
惑星プラズマ・大気研究センター長]



寒い地域の夜空を彩るオーロラについて、光る仕組み、出現の特性、突然爆発する様子、そして、オーロラのエネルギーの流れなどについて講義します。今回の舞台は、地球周辺の宇宙空間ですが、木星や土星にも、オーロラ現象は見られます。これらの惑星のオーロラの原因は太陽であることが、人工衛星や惑星探査機の活躍によって、明らかになってきました。太陽表面の絶え間のない変動、特に黒点の変動と、その影響を強く受ける惑星周辺の宇宙空間について、最新の人工衛星と地上望遠鏡の成果を基に、解説します。



2018 2月開講 (予定)

受講登録準備中

「東日本大震災の教訓を活かした実践的防災学へのアプローチ - 災害科学の役割」

今村文彦 教授

[災害科学国際研究所]

後藤和久 准教授

[災害科学国際研究所]

佐藤翔輔 助教

[災害科学国際研究所]

安倍 祥 助手

[災害科学国際研究所]



東日本大震災における調査研究、復興への取り組みから得られる知見や災害科学研究の成果を社会に組み込み、安全な社会システムを構築するための試行を紹介します。被害実態と今後の教訓を概説し、国際的な防災の取組、被災地などでの減災活動等、実践的防災学の事例を紹介します。

受講登録はコチラ (無料)

QR コードまたは下記で検索

東北大学 MOOC



※受講にはインターネット接続が可能なパソコン、スマートフォン、タブレット端末等が必要です。